

# 令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

少子高齢化や人口減少に伴う労働力の減少が深刻化しており、定年延長や継続雇用制度の普及といった労働環境の変化により、全国的にシルバー人材センターの会員数は減少傾向にあります。

立山町シルバー人材センターの会員数も、いろいろな方策を取り入れ会員の増に努めましたが、結果2名の減となりました。

当シルバー人材センターの経常収益金額は61,277千円で、前年度より32,171千円の減額となりました。受取配分金が計上されなくなったために大幅な減額に見えます。

今後も、会員・役職員一人ひとりが知恵を出し合い、人との交流や社会とのつながりの場として、具体的に行動することにより地域社会に貢献し、活力を生むシルバー人材センターとなるよう努めていきたいと考えています。

## 1 会員の状況

令和6年度末会員数は155名でしたが、令和7年度の新規入会者25名、退会者27名で、令和7年度末会員数は2名の減となり153名となりました。

全国的な会員減少傾向のなか、会員募集の新聞折込や会員による一人一会員確保の推進、お友達紹介キャンペーンの実施などにより、会員の減少には一定の歯止めがかかったものと考えています。

なお、男女の内訳は男性89名、女性64名となっており、引き続き、新規の会員や女性会員の加入促進にも努力したいと考えています。

## 2 就業機会の拡充

### (1) 就業機会の目標

就業率については、対前年比0.8ポイント減71%となりましたが、会員が希望する職種と受注業務の調整がつかない案件が見られることから、受注業務の新規開拓に努めていきたいと考えています。

受注件数は対前年比299件減の809件、就業延べ人数は788名減の11,014名となりました。延べ人数の減少は、派遣への移行及び就業会員減等の受注減によるものです。

派遣とあわせた受注件数全体では、対前年比で269件減の855件、就業延べ人数では364名減の14,442名となります。

## (2) 受託事業の状況

受託事業収益は9,023千円、新たに包括的契約に係る収益は8,679千円、となりました。減少した要因として、新契約に基づき決算書には出てこないことから減少になったものです。

## 3 安全適正就業の徹底

令和7年度は人身事故が1件、物損事故は6件、合わせて7件の事故が発生しました。前年度に比較し、同数となります。

「安全と健康は全てに優先させる」を基本理念として、安全教育や就業現場の巡回・安全パトロール等も実施していますが、依然として事故が発生しています。また、県内シルバーでも重篤な事故が発生しており、当シルバーでも、引き続き安全教育の徹底を図るとともに、指差呼称の実践などにより、事故の減少に努めていきたいと考えています。

## 4 総合公園施設の利用促進

屋内グラウンドなど総合公園施設の予約状況が総合公園ホームページから確認できるシステムを導入しています。パソコンやスマホから、施設の空き時間を確認できることから、空き時間を指定した予約が増え、予約利用全体の向上につながっていると思われます。

また、以前は現金でのみ収納していた施設利用料をペイペイ支払いができるようシステム改修し利便性を図っています。

## 5 会員研修など

- 健康管理講習 5月30日 総会終了後開催(イベント広場)
- 安全運転講習 10月6日午前・午後の2回実施 立山町総合公園内
- 令和7年度「シルバーの日」10月17日にボランティア活動を実施、その後、レクリエーション交流会を開催しました。
- 安全就業研修会・就業相談会 3月2日 元気交流ステーション大会議室

## 6 コンビニ収納状況

平成29年4月から本格的に導入した作業代金のコンビニエンスストアでの取り扱いについては、作業代金支払者の約19%(金額では約18%)が利用され、利用できる店舗が多いことや取扱時間が長いこと、手数料が割安などで、今後の利用増につながっていくものと考えられます。また、令和3年9月よりペイペイ並びにラインペイの請求書払いも利用できるようになり、引き続き、コンビニ支払いを推進していきます。